

(別紙2)

地域サポート計画(新規就農者向け)

(7年3月現在の情報)

都道府県名	北海道	市町村名	妹背牛町	問合せ 窓口	(組織名) 農政課農政グループ (住所) 雨竜郡妹背牛町字妹背牛5200番地	(電話) 0164-32-3205 (メールアドレス) noseig@town.moseushi.lg.jp
-------	-----	------	------	-----------	---	---

第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方等、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)		
	令和6年度		令和5年度		令和4年度			令和3年度	
	うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下	
新規就農者数(必須)	2	2	0		1	1	0		
内 訳	新規参入者数	2	2						
	新規自営農業就農者数								
	新規雇用就農者数					1	1		

注1: 「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2: 「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3: 「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	関係機関一体となって、新規就農をサポートします。
地域と農業の紹介文	妹背牛町は、北海道の中央西部に位置し、総面積は48.64km ² と道内の自治体では3番目に小さな町です。山がなく平坦で、総面積の約7割が農用地となっています。気候は大陸性気候で年間平均気温は7℃ほどで、12月から4月までの5か月間は雪の中の生活となります。石狩川、雨竜川、大鳳川の3つの河川に囲まれた肥沃な農地を活かし、妹背牛町では水稲を中心に麦類、豆類、花き等を取り入れた複合経営が主となっています。
主な農産物	水稲、小麦、大豆、そば、花き等
地域が求める新規就農者	心身ともに健康な18歳以上50歳未満の方

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	空知農業改良普及センター北空知支所、JA北いぶき妹背牛支所営農推進課	販路支援	JA北いぶき妹背牛支所花卉蔬菜課、米穀農産課
農地確保支援	妹背牛町農業委員会、妹背牛町農政課	生活に係る支援(住居、子育て等)	妹背牛町企画振興課・健康福祉課・住民課
機械・施設等の確保支援	JA北いぶき農機車輛課、生産資材課、妹背牛町農政課	事務局・全体調整	妹背牛町農政課
資金相談	JA北いぶき妹背牛支所融資経済課	その他(〇〇)	
農業者による指導	町内の指導農業者・農業者	その他(〇〇)	

3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	就農・移住相談対応、就農相談会の開催	北海道農業公社HPにて相談に応じています。 就農相談窓口と移住・定住支援に関する窓口が連携して、ワンストップの相談対応を実施しています。
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	
	ホームページ、パンフレット等での情報提供	
	その他	
就農前の支援	研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	妹背牛町農業推進振興協議会作成のカリキュラムにより、長期研修(2年間)プログラムを実施しています。
	就農計画作成サポート	サポートチームや関係機関で、実現可能な目標に向けた就農計画作成のサポートを行います。
	農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	妹背牛町農業委員会、妹背牛町農政課、JA北いぶき農機車輛課・生産資材課・融資経済課が連携して相談に対応します。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	JA北いぶき妹背牛支所花卉蔬菜課・米穀農産課にて相談に対応します。
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	研修期間中の住宅家賃の1/2以内を助成します。(2万円限度)
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	サポートチームや町内の指導農業士・農業士からの指導・助言・相談等を行います。
	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあつせん、営農資金の相談等	サポートチームからの情報提供等を行います。
	販路確保、販路開拓に向けた支援	JA北いぶきにて販路は確保されています。
	地元農家や地域住民との交流促進の取組	地元町内会組織への加入、JA北いぶき各生産部会への加入、JA北いぶき青年部・女性部への加入などにより、地域との交流を行います。
	生活に関わる支援(住居のあつせん・手当、子育て支援等)	妹背牛町公式ホームページ(https://www.town.moseushi.hokkaido.jp/)の定住・移住情報をご参照ください。
	その他	妹背牛町新規就農経営安定対策助成金 年間50万円/1経営体×3年間合計150万円を助成します。

注: 地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4 就農までの流れ(必須)

就農相談	就農準備段階	就農
妹背牛町農政課を中心に就農相談を行います。(随時)	妹背牛町農業振興推進協議会作成のカリキュラムにより、2年間の研修を受講していただきます。 1年目 町内の指導農家での研修 2年目 同上 サポートチームによる指導、助言、就農準備資金申請及び就農計画等の作成支援を行います。	経営開始資金、青年等就農資金、経営発展支援事業等の申請支援、その他関係機関が連携し、就農後もサポートを行います。

5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	210 万円	年間労働時間	2000 時間
------	--------	--------	---------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
花き専業	花き	100 a	640 箱/10a	売上 1183 万円	専従 2 人	2,000 h/年	ハウス面積33a、1箱/80本、1本/70円
				経費 763 万円	パート 人		
				所得 420 万円			
主な施設・機械等	パイプハウス	10 棟	除雪機	1 台		台	
	選花施設	1 式	動噴装置	1 式		台	
	トラクター40ps	1 台	軽トラック	1 台		台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

--

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。